

■After 建築名称 下段:英語名	H・U設計工房／ギャラリー蔵		
建築用途	大分類 事務所、展示施設	小分類 設計事務所、ギャラリー	
改修設計者	(株)H・U設計工房	URL	
所在地	東京都江戸川区北小岩7-26-14	Google Map	
改修年	1999年		
建築規模	木造2階建、床面積:1階57.8㎡、2階33.1㎡、延床面積:99.9㎡		
掲載書誌			After 南外観、1階の左に出ている部分は下屋を室内化したギャラリー
賞・選定	第23回 INAXデザインコンテスト銅賞		撮影者 提供者 撮影:桐原武志 2024年
資料・その他			概要 after 蔵部分を設計事務所に、下屋部分を室内化しギャラリーに
■Before 建築名称	農業用蔵		概要 before 農家の敷地内に大正6年に建てられた農機具や収穫した米を収蔵する2階建ての蔵
建築用途	大分類 生産施設	小分類 蔵	
■写真 Before 改修前の西側の下屋部分。	After 1階:蔵内部のH・U設計工房の打合せ・応接室。	After 下屋部分を室内化し農機具などを展示したギャラリー	
			
撮影者 提供者 H・U設計工房	撮影者 提供者 H・U設計工房	撮影者 提供者 撮影:桐原武志 2024年	
■リノベーション内容	キーワード 用途変更、屋内化、補強、	内容 農業を営んでいた実家の敷地内に、大正6年に建てられ、収穫した米や明治・大正期の農機具・生活用具などが保管されていた蔵を、設計事務所と農機具などを展示するギャラリーにリノベーション。 基礎の大谷石、外壁の下見板などの傷みが進み危険な状態になっていたため、基礎は大谷石を残し内側に布基礎を増設。壁は土壁を残しラスボード下地の漆喰塗りに、屋根は瓦葺きをカラーベストコロニアルにし軽量化を図っている。屋根を軽量化することで屋根を支えていた丸太の梁の「むくり」が5mm程戻った状況が起きている。江戸川区北小岩地区は現在は住宅地だが戦前迄は農家が点在していた地域だった。最後に残っていたこの蔵は解体するのではなく、1階の西側の外屋部分を半外部的な屋内とし、農機具などを展示するミニ郷土資料館として地域の歴史を継承している。また、マキの生垣、シイの木などもできるだけ残し、移植し、昔のイメージを壊さないような配慮がされている。	
■備考			
■作成者 氏名／所属	桐原武志 Free JIA再生部会	作成協力者	平野隆久／(株)H・U設計工房